



## カブトエビは、カブトガニと同じ仲間なの

### カブトガニは海岸にすみ、クモに近い仲間

カブトエビは、カブトガニと、体の形がよく似ています。でも、カブトガニは、九州の北部の海岸などにすみ、おとなになるのに13年もかかり、体長が60センチメートルにもなります。じゅ命は、およそ25年ぐらいといわれ、クモの仲間に近い動物です。おとなになると、メスの体の後ろにオスがくっつき、いつも2ひきつながった形で生活します。カブトガニは、ゴカイや、小さい二枚貝、海そうなどのえさを、においで探します。

### カブトエビは、田んぼの水の中にすみ、ミジンコに近い仲間

カブトエビは、田んぼの水の中でくらし、体長は3センチメートルぐらいで、ミジンコに近い仲間です。体はよく曲がり、すばやくよく動き回ります。卵を水につけると、2~3日でふ化し、5日後にはだっ皮して、親と同じ殻をもつカブトエビらしい形になります。

その後、2週間もすれば卵を産みは

じめ、3か月も生きていた記録があります。

カブトエビは、一つの体に、オスとメスがある（雌雄同体）ようで、全部が卵を産みます。

カブトエビの特長は、15年間も机の中にしてあった卵が、水につけたらふ化したというぐらい、卵が長生きなことです。

毎年、水をぬかれる田んぼで、親は死んでしましますが、次に水がはられるまで、卵が元気に生きています。（監修・安部 義孝）

